

公益財団法人かすがい市民文化財団情報誌

フォーラムプレス

FORUM PRESS

85^号
4-5^月
2018

春 日 井 の 文 化 を つ む ぐ

は
じ
ま
り
の
春

行
き
先
は
自
由



「短歌に触れずに一生を終える。そんな人を1人でも減らしたい」

日頃、色々と考えてしまうタイプなので、時間ができるとランニングでストレスを発散しています。走っているときは、走ることにしか考えないので。



あの人と、春日井と

歌人
鈴掛真

SUZUKAKE Shin

1986年2月28日生。愛知県春日井市出身。東京都在住。名古屋芸科大学メディア造形学部卒業。短歌結社「短歌人」所属。広告会社でコピーライターを3年間経験後、作家業に専念。著書に「好きと言えたらよかったのに。」(大和出版刊)がある。

短歌造形アイテムプロジェクト「31on(サンジュウイチオン)」では、自ら刺繍を施した「刺繍短歌」シリーズを展開。これまでにない独自のクリエイションを追求している。

<http://suzukakeshin.com>

歌人・鈴掛真 短歌展

5/8(水)～20(日)※月曜休館

10:00～17:00(入場は16:30まで)

@文化フォーラム春日井・ギャラリー[入場無料]

「初めての短歌」ワークショップ

5/19(土)14:00～16:30

詳細は文化財団ホームページにて

会うよりも会わないままでいたほうが好きになるのはどうしてだろう

自身の代表作という短歌には、誰もが共感できるような恋愛場面が詠われている。「僕は同性愛者として人生に何を残せるか」。10代の頃は、自分の価値を必死に探した日々だったという。

そんな鈴掛さんの短歌人生は、1冊の本との出会いからはじまる。大学時代、友人からプレゼントされた天野慶さんの歌集『短歌の気分』だ。潔く、爽やかな天野さんの世界観に惹かれた。何より、複雑な感情が5.7.5.7.7の31音だけで完結する短歌の世界は、自分に合っていると感じた。「たくさんの人の心に響くような言葉を書きたくて、すぐに短歌を作り始めました」

26歳のとき、鈴掛さんのブログを読んでいた出版社から声がかかった。「最初の企画書はイケメン売りで、女子をキュンキュンさせる内容…。僕、そういうのダメなんですよ」。編集者と相談を重ね、ありのままの鈴掛さんを表現した歌集が完成する。この本の出版は、同性愛者であることを世間にカミングアウトする転機にもなった。

歌人として活動を始めて10年。短歌を通じて、人生に価値を見出だせるようになった。「短歌って何?って聞かれないために、短歌の外に目を向けることが必要だと思っています」

2018年9月には、新しい短歌の表現を目指して気鋭の映像クリエイターと制作する『短歌のリリックビデオ』が完成予定。その資金をクラウドファンディングで募るのも、多くの人に短歌を知って欲しいという思いから。短歌の未来とまっすぐ向き合う姿は、男気に溢れている。

テキスト・写真＝相馬加奈子

CONTENTS

- 01 あの人と、春日井と「歌人 鈴掛真」
- 02 松竹大歌舞伎 徹底解説!
- 04 山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018
- 06 西本喜美子 写真展
- 08 このマンガを読め! vol.24 「異文化交流」を描いたマンガ
- 09 わたしレポート「ミュージカル『忍たま乱太郎』第9弾」
「絵本作家あべ弘士展『どうぶつ世界旅行』」
- 10 提携ショップ「地酒とワインの店 マルマタ」
- 11 校歌は地域をうたう vol.33 篠木小学校 / 今月のお客様 vol.22
- 12 インフォメーション

写真家の眼

N°012

今では誰もが簡単に写真を撮れるけれど、写真家と言われる人の写真は、なんかちょっと違う気がする。彼／彼女はどんなふうに見て、切り取るんだろうか。春日井にまつわるもの、という切り口で始めた表紙写真プロジェクトです。



今号の表紙 on the cover

PHOTO 山田 巨
KO YAMADA

春日井を縦に抜ける下街道は旧中山道と名古屋を結ぶ陸運の道。正式な五街道の宿場を守るため通行を禁じられながらも平坦で便利なこの道を庶民は使い続けたのだそうです。Googleマップでも旧下街道は明記されており、今回はそれを頼りに春日井を縦断して右や左を見回しながら、下街道から見える景色を探して行きました。煙突から公園、球場、史跡に地蔵に山神と街の今と昔を縦断する旅のようでした。

発行＝公益財団法人かすがい市民文化財団
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
編集＝公益財団法人かすがい市民文化財団
制作＝211design-meme Art Director＝鷹巣由佳

歌舞伎ソムリエ おくだ健太郎の 松竹大歌舞伎 徹底解説!

おくだ健太郎
(歌舞伎ソムリエ)

1965年、愛知県生まれ。大学入学で上京後、歌舞伎に出会い熱中、立ち見席に通いつめる。現在、歌舞伎イマホンガイド解説者。歌舞伎のトーク会「おくだ会」などで、歌舞伎の楽しさを伝えるため、多方面で活動中。HP「おくだ健太郎・歌舞伎ソムリエ」http://okken.jp



聞いて楽しい 七五調のセリフ

今年の歌舞伎公演は尾上菊之助さん、坂東彦三郎さん、中村梅枝さん、市川團藏さんらの魅力的な顔ぶれで、お芝居とおどりの楽しい舞台を、ご覧いただけます。

「曾我統・御所染」通称「御所五郎蔵」は、主人公のあだ名が芝居の呼び名としても定着した作品です。

作者は河竹黙阿弥といって、幕末から明治にかけて人気作品をたくさん残しています。胸のすくような江戸っ子言葉で「何が何して何とやら…」の七五調のリズムに上手くのせて、ヒット作を連発しました。

五郎蔵は、お話の設定上は、京都の侠客(伊達男)です。だから「御所」がたまに付くんですね。もともとは武士で、お屋敷の腰元と恋におちますが、いまは侠客。恋仲の腰元も五条坂(清水寺の近く)の廓の遊女となっています。皇月という名です。この二人のあいだに横恋

幕で割り込んでくるのが、星影。土右衛門。名前からしてダークサイドの(笑)ふてぶてしいイメージですが、五郎蔵や皇月が武家にいた時分からの恋敵です。妖術も使える不気味な武士です。…こうやって書いてくると、なんとも複雑で込み入った内容を想像しますが、作者の黙阿弥がすごいのは、どんなに入り組んだストーリーであつても、軽快で心地よい芝居に仕立てあげてしまうんです。つまり彼には「七五調のセリフ」という、切れ味はつぐんの道具があつて、それを自在に用いて「たのしい芝居」という作品を生み出す。職人技なんです。黙阿弥の作劇というのは。

皇月をめぐって火花を散らす五郎蔵と土右衛門の男の意地。皇月や逢州など、あでやかな遊女たちのやりとり…。登場人物いづれも「何が何して…」のリズムでうたい上げる、黙阿弥の七五調のセリフ。この芝居は、「見る」と同じく「聞く

楽しさ満点の一篇かもしれません。ご期待ください。

なお、五郎蔵の「五郎」は、歌舞伎の人気キャラクター。曾我兄弟(兄・十郎。弟・五郎)のうち、弟の五郎にちなんでいます。この兄弟、父親の仇討ちを五月二十八日になしとげたことで有名なのですが、同じ日にちに五郎蔵も派手なケンカで男を上げたので、呼び名が定着したのです。

「曾我兄弟の仇討ち」に、似たケンカから名を売って、あだ名に呼ばれし御所の五郎蔵という、自己紹介めいたセリフもあります。お、これも七五調ですね。さすが!



おてんば娘が魅せる
女方的おどり
「御所五郎蔵」の前後には、おどりが二つ。一つは「近江

のお兼」といって、琵琶湖のほとりに住む、おてんばな田舎娘のおどりで。彼女、男まさりで力持ちなんです。栗毛の馬とくり広げる元氣いばいのやりとり。馬(前脚と後脚を、二人の役者さんがコンビでつとめます)の演技にも、ぜひ喝采を送ってあげてください。

やんちゃでも、やつぱり、年頃の女の子のお兼。天の河に恋の願をかけた日、幕切れには白い長いさらし布を、風には大らかにひるがえしたりー見どころいっぱい。女方的おどりで。梅枝さんが明るく可愛らしくつとめます。

下駄履きのタップダンス!

そしてもう一つは、公演の最後をたのしくしめくくる「高坏」というおどり。なんと、下駄履きのタップダンスがたっぷり味わえる、極上のエンターテインメントです。ご主人から「高坏(足のついた器)を買ってこい」と命じられた太郎冠者が、何をどうまねかえてか、高坏ならぬ高足(下駄

を買わされてしまったて、さあ、どうなることやら…。



おつちよこちよいだけど憎めない太郎冠者。かたや江戸前の爽快感じばいの五郎蔵。どちらも名門・尾上菊五郎家として、たいせつなお役です。その芸を着実に受け継ぎ、いま、本場に「のつている」役者 菊之助さん。七月の公演が待ち遠しいですね!

おつちよこちよいだけど憎めない太郎冠者。かたや江戸前の爽快感じばいの五郎蔵。どちらも名門・尾上菊五郎家として、たいせつなお役です。その芸を着実に受け継ぎ、いま、本場に「のつている」役者 菊之助さん。七月の公演が待ち遠しいですね!

松竹大歌舞伎 出演者



松竹大歌舞伎 関連イベント

公演当日
歌舞伎ソムリエ
おくだ健太郎の直前解説
7/16(月) [要申込]
①特製弁当付き解説 10:30~11:30
②スイーツ付き解説 15:00~16:00
詳細は文化財団ホームページで公開予定。

歌舞伎の演目を分かりやすく解説します!
葛西聖司の
極付!歌舞伎セミナー
6/29(金)13:30~
@春日井市民会館



松竹大歌舞伎
7/16(月) @ 12:00~16:30
@春日井市民会館
詳細情報は、裏表紙で
Ticket Guide

YOSUKE

—それがジャズの一番の面白さですね。山下 出会う人に恵まれたんですよ。1969年のトリオ結成時代からすごい出来事が次々と起こってね。既成の音楽から自由になる体験ができたから、肘打ちも体得してしまった。当時のジャズは、どこか深刻で暗くて、知識がないとダメみたいな雰囲気があったのを、ぶち破っちゃったんで、楽しく見えたのでしょ。だから、ジャズフェスよりもフォークフェスなんか呼ばれてね。早稲田大学のバリエード内で演奏した後も「あれやったの、あいつらだよ」って、いろんな学校の一番変な奴らが狭い教室に連れていく(笑)。そのご縁がここまで繋がったんです。フォークの岡林信康さんなんて、今の時代になつて付き合ひ出してね。「山下さんは自分より二つ上だから、この人がやっている間は、わしはやめられん。目の上のたんこぶだつて言いながら、そつとライブを聴きにきてくれるんだ。そして、トリオ時代を共にした森山威男、中村誠一、坂田明。みな、今でも元気にやっつてるね。



©Jimmy & Dena Katz

YOSUKE YAMASHITA SPECIAL BIG BAND CONCERT 2018

【演奏予定曲】

- 組曲 山下洋輔トリオ
(作曲:山下洋輔)
／編曲:松本治)
- 「極東組曲」より
(作曲:デューク・エリントン)
／編曲:松本治)
- ボレロ
(作曲:モーリス・ラベル)
／編曲:松本治)

- [Piano] 山下洋輔
- [Trombone, Conducting] 松本治
- [Bass] 金子健
- [Drums] 高橋信之介
- [Trumpet] エリック宮城、佐々木史郎、木幡光邦、高瀬龍一
- [Trombone] 中川英二郎、今込治
- [Bass Trombone] 山城純子
- [Saxophone] 池田篤、米田裕也、川嶋哲郎、竹野昌邦、小池修

日本人バンドでも、もしやの初演!
デューク・エリントン「極東組曲」
—63年から64年にかけて、親善大使として極東を旅行した際の印象を綴った東方見聞録なんだそうです。山下 旅先で面白い事があって、曲ができちゃったんでしょ。これって日本?みたいな曲もあるんだけど、エリントンの頭の中にあつたもの。エリントンは「極東組曲」というこの機会に、何かいっそう前衛・フリーな音楽をつかもうとしていたのではないかな。とても現代音楽的なピアノのイントロもあるし、全体にソリストもどこかフリージャズを目指している印象があります。
—西洋の楽器を和楽器に見立てて作った曲だそうです。
山下 クラリネットを尺八に、ピアノを琴に。もう一歩踏み越えれば、ピアノの弦そのものを弾き出しちゃうかもね!
—山下さん、エリントンには...。
山下 彼の前で「サテンドール」を弾いたことがあるんです。当時は初な青少年で、



YAMASHITA YOSUKE TRIO 1969-1983



山下洋輔トリオ時代の写真。左から山下洋輔さん(ピアノ)、坂田明さん(サクソ)、森山威男さん(ドラム)。

「激動の時代を駆け抜けた伝説の『山下洋輔トリオ』」
その代表曲が、ビッグバンドの演奏で、全部つながって抱き込まれる『組曲』へ!

山下洋輔 インタビュー INTERVIEW

—春日井での公演は、今年で6回目。2008年から隔年開催でちょうど10年となりました。

山下 春日井、すごい場所になっちゃいましたね。ちょっと来ただけのご縁じゃないから、下手なことはできないね。ちゃんとやっつて、ご覧いただかねば。

「組曲 山下洋輔トリオ」

—ビッグバンドの演奏は、これまでクラシックメインでしたが、今回はド真ん中のジャズがきました!

山下 トリオ結成から来年で50周年。終活に入ったのかな(笑)。周りからお前の曲を全部やっちゃったらどうか、って知恵が出てね。最初にトリオをやり出したLPのタイトルチューンを、アレンジャーでトロンボーンの松本治が意欲を持って「コー・ジュして」くれてます。何から始まって、どう終わるのか、もう頭の中にあるらしい。ジャズマンの体質として、まずは仲間から脅かそうという性分があるので、僕が一番楽しみで、どうなるのかわからない(笑)。

恥ずかしくてトイレに閉じこもっちゃって。あの時、図々しく握手してたら「エリントンから大絶賛!」と言えたのにな(笑)

曰く付きの「ボレロ」

—そして、筒井康隆先生が名付けた、「脱臼したボレロ」!

山下 「ボレロ」といえば、リズムを延々と繰り返すことで興奮していくという、人間の感情を突いた曲なんです。我々の違いは、リズムがなかなか出て来ない(笑)。ボレロは、あんなまよれば、ある意味ジャズ的なんですよ。でも、わざとやらない。

—それが無性に病みつきになります。
山下 自由なことも、無理難題も、やらせてやる。やっつてやる。こつこつと人が出てくるんです。ここまで来れたのは、やっぱり人のおかげです。

取材:2月22日@東京・新宿 テキスト:山下愛

スタッフ=山川愛
山下さんが率いるからこそ可能な、松本治さんの編曲とビッグバンドの演奏。この時間、この場所でのしか体感できない...だからこそ音楽は豊かなのです!

山下洋輔 スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018
6/24@ 16:30~@春日井市民会館

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

喜美子さんの本



「ひとりじゃなかよ」

何かをスタートすることに遅すぎることはない

テーブルフォト、セルフポートレートや掛軸写真など、喜美子さんの世界観に触れられるフォトエッセイ。ページをめくると、写真にそえられた熊本弁に思わずほっこりとした気持ちになります。

写真を始めた時のこと、最愛のご主人との別れ、寂しい時に支えになった写真や仲間の存在など、人生観も伝わってくる一冊です。

©西本喜美子/飛鳥新社



「面白い自撮り写真を撮るおばあちゃんがいるらしい」

5月で90歳を迎える西本喜美子さんが一躍話題になったのは、82歳の時に発表したセルフポートレートがきっかけでした。



テーブルフォトの作品。道端で拾ったどんなガラクタも、喜美子さんにとっては宝物。どうしたらキレイに撮れるのか考えながら撮影しています。



スタッフ=相馬加奈子

笑顔がチャーミングな喜美子さん。お話を伺うと、とても芯の強い女性という印象を持ちました。歴代の愛用カメラはニコンだそうです！

おばあちゃん、なんばしとつと!?
西本喜美子写真展
「みんなで遊ば、楽しかよ」
5/30(水)~6/10(日)※月曜休館
10:00~17:00(最終入場は16:30)
★金・土は10:00~19:30(最終入場は19:00)
@文化フォーラム春日井・ギャラリー

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide

取材 2月24日@東海市 テキスト 相馬加奈子

ているのです。撮影の対象は、家にある物や道端で拾ってきた物ばかり。収集のポイントは、写真で撮ったらどうなるかという好奇心。写真を撮り始めてから、喜美子さんの感性は、ますます豊かになりました。

写真を撮ってあげれば、一人じゃない

「何かを教えてくださいたい人は、年下の方でも、息子でも先生ですよ」。息子が教壇に立つ塾に入って17年。「今日に行くの嫌だな」と思う日もあるそうです。それでも続けてこられたのは、仲間の存在が大きいと語る喜美子さん。仲間の作品に刺激を受けながら、時に写真愛を語り、時に切磋琢磨しながら腕を磨いてきました。同時に、塾の主催する展示会も写真を続けるモチベーションに繋がっています。

「写真は生涯続けます。たとえ寝たきりになっても、ベッドの上から天井の写真を取り撮っているでしょうね」。5月で90歳を迎える喜美子さんの創作活動は、まだまだ現役で続きます。

幾つになっても、好きなことに全力投球。
ユーモラスなセルフポートレートが話題に!

生涯現役アマチュアカメラマン 西本 喜美子



嫌われるより、笑われたい

カメラに触ったこともなかった喜美子さんが写真を始めたのは、72歳の時。息子・西本和民さんが主催する遊美塾(カメヲ)を使った様々な表現を学ぶ塾の生徒さんに誘われて、写真講座に通い始めたことがきっかけでした。「写真は残りますし、いいなと思いました」。以来、どんどんカメラの魅力にハマっていきます。

セルフポートレートを始めたきっかけは、塾の宿題でした。ユーモアあふれるセルフポートレートは、たちまち話題に。「どうせ撮るなら、嫌われるよりも笑われた方がいい」。写真の加工技術も学び、カメラのタイマー機能はもちろん、パソコンを駆使しながら次々と奇想天外な作品を発表していきます。セルフポートレートを撮影する際に難しいのは、自身の表情だと語る喜美子さん。写真の中で魅せる女優さんからの絶妙な表情は、どれも最高にチャーミングです。

撮影場所は、ほぼ自宅

歳を重ね、足腰が弱ってきた喜美子さんは、他の仲間のように、遠くに撮影に出かけたりすることも困難。そこで、自宅の一室を、ホームセンターで買い集めた電球を配置したスタジオに大改造。このスタジオで、色鮮やかなテーブルフォトを撮影しています。

驚くべきことに、セルフポートレートとは違い、テーブルフォトではパソコンによる加工は一切なし! 全て、喜美子さんの知恵と工夫で表現され

「面白いな、動物の絵本」

絵本作家 あべ弘士展
～どうぶつ世界旅行～

文化フォーラム春日井・ギャラリー

Report.279
2.24-3.18
SAT-SUN



[今回の担当レポーター]
小学生レポーター-たもとかなな



文化フォーラム春日井へ、絵本作家あべ弘士さんの展覧会「どうぶつ世界旅行」を見に行きました。あべさんは、動物が大すき。動物園の飼育係もしたということです。展覧会開催中には、トークショーがあり、絵本についてや、動物園での出来事などを話してくれました。絵本を作る前に、絵本のもとになるラフを作ることも、わかりました。あべさんは、北極に行ったこともあるそうです。北極にいたしろくまを題材にした、『ふたごのしろくま』シリーズが3さつあります。リズムがよく、面白い絵本だと思いました。あべさんの絵本は、他にもたくさんあります。トークショーが終わったら、サイン会もありました。展覧会は、少しひくめに作品が展示してあり、私も見やすかったです。絵の具やクレパスなどを使い、色あざやかできれいな作品でした。みなさんも、あべさんの絵本を、ぜひ、読んでみてください。

フォーラムプレス
レポーターによる
「わたしレポート」

MY REPORT

他のレポートもHP
で紹介中!→財団
スタッフDIARY



市民ボランティアが
かすがい市民文化財団の
アレコレを紹介!

新しい若者文化!

ミュージカル「忍たま乱太郎」第9弾
～忍術学園陥落!夢のまた夢!～

春日井市民会館

Report.282
2.3,4
SAT-SUN



[今回の担当レポーター]
林佳枝



©金子修兵衛 / NHK・NEP ©ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会

初体験の2.5次元ミュージカル「忍たま乱太郎」。観客のほとんどが10代20代の女性のように、会場ロビーには轟頂の役者名を掲げた色鮮やかなスタンド花がずらりと並んでいます。ムムッこの華やかさと役者さんとの親密な距離感は何???公演が始まると、若さはじける役者さん達(子役も含む)のダンスはキレッキレ!で本当に気分爽快。しかしよく見ると、全員のシャープな動きがカチッと揃って、これが実にアニメ的なのです。新感覚です。また、お話の随所にギャグが散りばめられて、登場人物がワハハ〜とずっこけるところも原作の漫画そのものなものでした。レポーターの観客がお決まりの手拍子で音楽を盛り立てる場面や、各忍者の得意武器紹介の場面にも定番の型があるらしく、演者と観客の呼吸が1つになって最高潮の盛り上がりを見せていました。初めての私もその雰囲気と役者さんの爽やかさに引き込まれ、手拍子を真似て大いに楽しみました。

第67回
かすがい日曜シネマ
KASUGAI 67 CINEMA

「タレントタイム 優しい歌」

5/20(日)
①10:15~ ②13:45~ ③16:45~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

2009年 / マレー語、タミル語、英語、広東語 / 115分

詳細情報は、裏表紙で Ticket Guide



©Primeworks Studios Sdn Bhd

マレーシアの青春

マレー系、インド系、中国系：様々な民族や宗教が複雑に入り混じる多民族国家マレーシア。この映画では、マレーシアの高校生で開催される音楽コンクール「タレントタイム」に出場する生徒たちを通じて、マレーシアの抱える社会問題が描かれていきます。高校に通う生徒たちも多民族で構成されていますが、いがみ合う大人たちとは違い、生徒たちは人間として違う民族の友人と向き合い、未来へと進んでいきます。その様子は、まさに混沌とするマレーシア社会における希望です。

「タレントタイム」に出場する生徒たちの演奏シーンも映画の見どころ。病気の母のため自身で作曲した曲を披露する青年や、得意なピアノで思いを寄せる青年への恋心を歌う女学生。重いテーマを扱った映画ですが、彼らの奏でる音楽やまっすぐな情熱に、映画を見終わった頃にはすっと心が洗われます。

テキスト：相馬加奈子

COMIC × CINEMA
vol.24

「異文化交流」を描いたマンガ

プロデューサー
小松淳子の

このマンガを読め!

文化・習慣が違う国で
共に過ごす人々を描いた
漫画をご紹介します。



バードさんは実在の人物。
日本の民族史を知る漫画としても、興味深い内容です。

ふしぎの国のバード
©佐々大河
株式会社KADOKAWA

この漫画で初めて
“食パン”は日本独自のパンであることを知りました…。

サトコとナダ
©ユベチカ / 監修: 西森マリー
星海社コミックス



漫画で学べるイスラム文化

映画「タレントタイム」には、イスラム教徒とヒンドゥー教徒が登場し、両者の違いが描かれます。この漫画には、サウジアラビアからアメリカに留学しているイスラム教徒のナダと、日本人のサトコのルームシェアの日常が描かれています。留学生として、アメリカでの新鮮な日常に刺激を受けつつ、互いの文化の違いにも驚いたり感心したり。服装や礼拝のしきたりなど、イスラム教の考え方や価値観が垣間見られ、興味深い内容が満載です。互いの違いを受け入れ、尊重し、相手を思いやる素敵な二人の友情に、全世界の民族がこうであつたら…と思わずにはいられません。

明治初頭の日本を旅した英国人

冒険家として名を成していたイザベラ・バード。彼女が目指すのは蝦夷への前人未踏のルート。政府ですら把握していない地を、通訳と共に目指し冒険してゆきます。外国人として好奇の目で見られながらも、日本独自の文化に飛び込む彼女の勇気に感服します。

FORUM PRESS 85号
読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後もより読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いします。

回答者プレゼント

抽選で次の1-3のいずれかをプレゼント!!

- 1 西本喜美子 写真展
ペアチケット
5/30(水)~6/10(日)
2名様
- 2 かすがい日曜シネマ
「タレントタイム 優しい歌」ペアチケット
5/20(日)16:45~
2名様
- 3 コロナワールド
映画鑑賞ペアチケット
2名様

回答者プレゼントの応募締切は、
4/30(月・休)必着

たくさんのご応募、お待ちしております。
※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は5月上旬の予定です

1 どこで情報誌FORUM PRESSを
入手されましたか?

P.1 あの人と、春日井と「歌人 鈴掛真」
 P.2-3 松竹大歌舞伎 徹底解説!
 P.4-5 山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018
 P.6-7 西本喜美子 写真展
 P.8 このマンガを読め!vol.24
「異文化交流」を描いたマンガ
 P.9 わたしレポート
「ミュージカル「忍たま乱太郎」第9弾」
「絵本作家 あべ弘士展~どうぶつ世界旅行~」
提携ショップ「地酒とワインの店 マルマタ」
校歌は地域をうたうvol.33 篠木小学校
今月のお客様vol.22
インフォメーション

3 あなたが注目している
舞台や映画、展覧会は?

P.10
 P.11
 P.12-13

4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい
内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

①西本喜美子 写真展ペアチケット
 ②かすがい日曜シネマ「タレントタイム 優しい歌」ペアチケット
 ③コロナワールド映画鑑賞ペアチケット

ご希望のプレゼントに1つ☑を付けてください
4/30(月・休)必着

2 今回のFORUM PRESSで、
面白いと思ったページに☑を付けてください

- FORUM PRESS 85号 読者アンケート

子どもたちを見守る大公孫樹

開校110年を迎えた篠木小学校は、4世代で通う児童もいるほど歴史ある学校です。今の校歌を作詞したのは6代目の安藤直太郎校長。歌詞では、篠木小学校のシンボル大公孫樹が歌われています。グラウンドと校舎を見守るように佇む大公孫樹。秋になるとたわわに銀杏の実がなります。地面に落ちてくる頃になると「くさい!」と騒ぐ子どもたちの声も、篠木小学校の風物詩になっています。



お話を聞かせてくださった
長谷川昌信校長



校長室にあった旧校舎の瓦

校歌

篠木が丘に咲くさくら
青空めざす大公孫樹
歴史のあゆみとまじり
はこりともてよびかける
篠木の友よすこやかに

のびゆく所はうつくしく
希望のいかりふらふら
わかいこころをみまかせ
ちかいつばい、はげあう
篠木の友よ、たくましく

希望のいかりふらふら
心ゆたかに、夢をよぶ
みんな仲よく手をくんで
ともにすすむ、ちかあう
篠木の友よ、いつまでも

作詞 安藤直太郎
作曲 井村一郎



元気いっぱい子どもたち

篠木小学校には、音楽部の演奏に合わせて、大きな旗を振って演奏を彩るカラーガード部という部活動があります。カラーガード部は春日まつりのパレードや運動会で、音楽部と一緒に大活躍。色鮮やかな旗のダイナミックな動きで、耳だけでなく、視覚的にも音楽を楽しませてくれます。「懸命に大きな旗を振っている姿をみると、こちらまで元気になります」と校長先生。子どもたちは、本番の日に向けて日々練習に励みます。



女の子に人気の部活。
カラフルな旗が印象的です。

今月のお客様

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろんな土地から、いろんなお客様がいらっやいます。

vol.22



春日井市より/水谷栄佑さん、一ノ瀬陽生さん

1/30、31に西部中学校から文化財団の職場体験にやってきた1年生の2人。「地道な活動が周りの人の笑顔につながる事がわかりました」と水谷さん。「色々な経験をして達成感が得られました」と一ノ瀬さん。どんなことにも積極的に取り組む姿が印象的でした。



春日井市より/渡邊三夫さん、洋子さん

3/4に春日井市東部市民センターで開催した「雀々・市馬 東西会」にご来場くださった渡邊さんご夫妻。「落語が好きでよく行くんですが、今日は何年か分笑いました!」「このホールは音が良いですね。両師匠とも良い声ですね」と笑顔で答えてくださいました。

大人な趣味
みつけた

スタッフ=伊藤かおり



お酒との出会いを、全力応援! 運命の出会いをマルマタで

ギフトや手土産、自分へのご褒美に。
マルマタなら、お気に入りのお酒がきっとみつかります。



■小布施蔵「ヌメロシス(6号酵母)」サケ・エロティック2017(小布施ワイナリー/長野県小布施町)日本のトップワイナリーが手掛ける“極限定”の日本酒。
■二兎(丸石醸造/岡崎市)甘く華やかなのにキレがあると女性にも大好評。人気急上昇中の一瓶です。

PiPi提携ショップ

地酒とワインの店 マルマタ

●八事町2-62-3 ●tel.0568-81-2519
●営業時間[火~金]11:00~21:00 / [土・日]10:00~21:00 ●月曜定休
●PiPi会員カード提示で、輸入ワインを5%OFF(一部除外品あり)



昭和15年創業の老舗酒店、地酒とワインの店マルマタ。久保田や瀬酒、作などの地酒好きにはたまらない人気銘柄の正規取扱店ですが、その他にも個性的な地酒が揃い、左党(酒好き)をうならせます。

「お店に置くお酒は、全国の蔵元さんから自分が美味しいと思うものを厳選しています。流通が限られている希少なお酒もありますよ」と店長の出口さん。

また、ワインの品揃えの豊富さも自慢。身体にも環境にも優しいと注目されている、「ヴァン・ナチュール(自然派ワイン)」を中心にいま最も注目されている小布施ワイナリー(長野)やドメーヌ・タカヒコ(北海道)、アズツカエナズツコ(愛知/豊田)などの日本産ワインにも力を入れています。(※在庫状況は変動しますので、お店への確認が必要です!)

「どんな人がどんな風にそのワインをつくっているのか。生産者の熱い思いも伝えていきたい」とは店長の姉で、ワイン担当の水野さん。

好みの味やお料理との相性など、色々なことを相談しながらお酒を選ぶのは、地元の酒屋さんならではの楽しみです。

編集ノート

誰一人として同じ人生を送ることは無く、同じ風景に出会うことも二度とない。ただ、演劇や文学、写真や音楽でその痕跡を垣間見ることができるなと思う、ある春の一日。(山川) / 歌舞伎特集の満開の桜のイラストに春を感じます。春と言えば、お花見!文化フォーラム春日井の近くの公園も、桜がきれいですよ。(相馬) / 4月から「昼コン」「夜コン」が始まります。新しい季節を音楽鑑賞とともに楽しむのもいいですね。(鈴木) / 冬から春にかけて私が走るコースは野鳥が見られてうれしくなります。カワセミに会えたときは気分最高!(神田)

(受取人)

愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすが市民文化財団
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ	お名前	歳
	ご住所	都道府県 市郡
DM送付希望	お電話	会員番号 P
<input type="checkbox"/>		

※友の会PiPiに入会されている方は会員番号もお書きください ※ご記入いただいた個人情報、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人私郵便
春日井局
承 認
8022
差出有効期限
平成31年3月
31日まで

郵便はがき
4868790
366



DAIKI スペシャルゲスト:Mr.マリック、マギー司郎 100分ノンストップライブ!!

Mr.マリックとマギー司郎が認めた次世代イリュージョニストDAIKIによる大迫力のライブをお見逃しなく!

6/2(土) 11:00~16:00 @春日井市民会館 [出演]DAIKI、Mr.マリック、マギー司郎 [料金]大人A席¥4,000、B席¥3,000 / 子どもA席¥2,500、B席¥2,000 ※S席は即日完売しました。●全指席(団体割引有) [チケット取扱い] Tel: 052-462-9968 Fax: 0568-33-7934

●上記方法にて、①お名前②ご住所③希望の公演時間④希望の席種と枚数をお知らせください。

[主催・問合せ] (株) Magic Of Illusion



市制75周年記念 第67回 春日井市民美術展覧会 作品募集

市民の皆さまから、毎年多くの力作が寄せられる春日井市民美術展覧会。今年も出品作品を募集します。あなたも作品を出品してみませんか?

[部門]日本画(水墨画を含む)、洋画(油彩・水彩・版画等)、書(篆刻・刻字を含む)、彫塑工芸、写真

[出品料]無料

[申込方法]出品申込書を持参または郵送

[申込期間]7/3(火)~16(月・祝)必着

[応募資格]春日井市内在住・在勤・在学の方(教室・講座等も含む)かつ高校生以上の方

[応募作品数]1人1部門につき1作品



エッセイ講座 受講者募集

文章の書き方を学んでみませんか? コツさえつかめば、文章表現がみるみる上達!

[講師]芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)

[期間]6/7~8/9の毎週木曜日

19:00~21:00(全10回)

@文化フォーラム春日井・文化活動室

[定員]20名程度(超えた場合は抽選)

[受講料]¥5,000

[応募方法]5/10(木)までに、名前・年齢・性別・電話番号・〒・住所を明記し、メール・ファックス・ハガキのいずれかで文化財団宛に応募。詳細は文化財団ホームページまで。



第2回 ワンコインコンサート Trio Primavera(トリオ プリマヴェーラ)

Primavera(プリマヴェーラ)とは、イタリア語で「春」という意味。3つの楽器の個性が響き合う、春風のような極上のハーモニーをお楽しみください。

6/1(金) 19:00~

@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[出演]

林里紗(フルート)、蒔田裕也(ピアノ)、小笠原歌歩(オーボエ)

[演奏予定曲]

歌劇《フィガロの結婚》K.492序曲、オペラ「ラ・ボエーム」より抜粋、サウンド・オブ・ミュージック、ニュー・シネマ・パラダイス・メドレーほか



昨年是小・中学校 7校にアーティストを派遣しました!

スタッフ=伊藤早恵

今年もやります! かすがい アウトリーチ事業 誰でもアート・ドア

いつもの日常の中に、特別な「アート」が扉を開けてやってくる。そして、新しい世界への「入口」になる。そんな思いをこめて、かすがい市民文化財団では、音楽家・美術家・俳優など、様々なジャンルのアーティストを市内の学校や福祉施設に派遣するアウトリーチ事業「かすがい どこでもアート・ドア」に取り組んでいます。

平成30年度の派遣予定アーティスト



ギタリスト 井草聖二 超絶技巧の演奏は一度聴いたら、やみつきに!



演出家・俳優 有門正太郎 想像力をつけて、皆で遊ぼう!



歌人 鈴掛真 春日井出身の歌人が、短歌のイロハを教えます。



美術作家 富永敏博 自分だけの旗をデザインしてみよう!

「かすがい どこでもアート・ドア」について、ご興味のある方は文化財団までお問い合わせください。

施設の魅力再発見! 女性トイレを洋式化! イラスト=スタッフ 森田完幸



文化フォーラム春日井と市民会館の女性用トイレを洋式化しました。もちろんウォシュレット付きです!(和式トイレも一部残しています)。

和式トイレが多く、休憩時間に混雑しがちだった市民会館の女子トイレでは、半円型の個室扉を採用することでトイレの数はそのままに洋式化を実現! 他にも、男女トイレ共にベビーチェアを新設したり、出入口に姿見が付いたりリニューアルしました。より快適になったトイレ、ぜひご利用ください☆

自分史の小部屋 旬の情報をご紹介します! Vol.4 演劇×自分史ワークショップ 直撃! 稽古レポート

3/25(日)に開催された演劇×自分史発表会「この場所、自分史」。公募で集まった15歳から78歳までの参加者9名が演劇作品を作りました。稽古が始まったのは3/10(土)。「自分史をつかって、演劇で楽しく遊びましょう!」と、演出家・俳優の有門正太郎さん。9日間かけて本番を迎えました。次号のFORUM PRESSでは、本番までの様子をレポートします! その前に、少しだけ稽古の様子を密着レポート!

演劇×自分史発表会「この場所、自分史」って?? 文化フォーラム春日井・交流アトリウムで募集した春日井にまつわるエピソードをヒントに、演劇を創作するワークショップの発表会。「書く」だけではない自分史の魅力を伝えます。



3/10(土) 稽古初日 緊張の初対面!この日は、自己紹介の後、市民から集まった春日井にまつわるエピソードを見ながら皆で話しました。

3/11(日) 稽古2日目 皆で「自分史」について学びます。普段は入れない、自分史の閉架書庫も見学に行きました。

身体をほぐしてストレッチ! 初日より参加者が増えて、和気あいあい☆メンバーの個性も、だんだん出てきた2日目でした。

3/17(土) 稽古3日目 寄せられたエピソードの場所を実際に見に行きました! 本番のストーリー作りに向けて、皆で想像力を膨らませます。



アトリウム音楽祭 -秋・春- 出演団体募集

音楽サークルの日頃の練習成果を発表してみませんか? 舞台スタッフが皆さまのステージをバックアップします!

①秋 スケジュール 申込締切: 5/27(日)、抽選会: 6/9(土) 開催日: 9/8(土)、9(日) ②春 スケジュール 申込締切: 11/25(日)、抽選会: 12/8(土) 開催日: 2019/3/2(土)、3(日) ①②ともに [会場] 文化フォーラム春日井・交流アトリウム [出演団体数] 各回16団体 [運営協力費] ¥5,000/1団体 詳細は、申込チラシまたは文化財団ホームページまで。



無料 夜コン No.218 音楽と詩の夕べ

サクソフォン奏者とボイスパーフォーマーによるユニットが夜コンに登場! 春の夜、音楽と言葉が融合した幻想的なステージをお届けします。

4/27(金) 19:00~ @文化フォーラム春日井・交流アトリウム [出演] 《コトダマ×オトダマユニット 妄想会議》 所克頼、竹内幸枝(サクソフォン)、白樺八青(ボイスパーフォーマー) [演奏予定曲] ピアノソナタより(W.A.モーツァルト)、アヴェ・マリア(A.ピアソラ)、金子みすゞ・中原中也詩集よりほか



無料 昼コン No.217 春に色づく五つの華

金管アンサンブルを身近に楽しんで欲しいとの願いから結成された金管五重奏団 Full Brass Five。ポップスからクラシックまで幅広いレパートリーをお届けします。

4/14(土) 14:00~ @文化フォーラム春日井・交流アトリウム [出演] 福岡詩織、筒井奏子(トランペット)、三宅由花(ホルン)、太田尚美(トロンボーン)、荒木衣里奈(チューバ) [演奏予定曲] モンテリジャンの丘(M. キャルバート)、魔女の宅急便メドレー(久石譲)、ユーモレスク(A.ドヴォルザーク)ほか

チケット購入方法

WEB **文化はかすがい** **検索** 

- Web会員登録(無料)が必要、PiPi会員は会員IDとパスワードでログイン
- チケット引取は **窓口** **セブンイレブン** **代引** から選べます。

TEL **電話で予約**

- 一般の方(9:00~21:30、チケット一般発売初日は10:00~)
- ☎0568-85-6868
- PiPi会員(PiPi先行予約期間中の9:00~17:00)
- ☎0568-85-6078
- チケット引取は **窓口** **セブンイレブン** **代引** から選べます。

窓口 **窓口で直接購入**

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ(休館日を除く9:00~18:00)
- 春日井市東部市民センター窓口(年末年始を除く9:00~12:00、13:00~17:00)

ぴあ **チケットぴあで予約・購入**

- 電話予約 / ☎0570-02-9999
- 直接購入 / チケットぴあ窓口もしくは端末にて
- ※公演ごとのPコードをご確認ください。
- ※PiPi会員割引はご利用いただけません。

etc **その他プレイガイド**

- ※ローンチケット、セブンチケット、ファミポート、名鉄ホールチケットセンターなど、各プレイガイドで販売する公演もございます。販売対象は各公演情報をご確認ください。

窓口購入以外のチケット引取方法

セブンイレブン **お近くのセブン-イレブン店頭で引取**

- ※チケット代金に加え、決済手数料(1件につき¥162)と発券手数料(チケット1枚につき¥108)が別途必要

代引 **郵便局「代金引換サービス」でご自宅に郵送**

- ※チケット代金に加え、代金引換手数料(¥500)が別途必要

※掲載価格はすべて税込です。※一般発売初日は、電話・Webからの予約・購入は10:00からとなります。電話のおかけ間違いにご注意ください。※車いす席をご希望の方は窓口または電話でお問い合わせください。※支払・引取方法によって各種手数料がかかります。※予約済・購入済チケットのキャンセル・払い戻しはできません。※前売り完売の場合、当日券の販売はありません。

青少年鑑賞サポートプログラム

- 対象者は優待価格¥500でチケットをご購入いただけます。
- 受付は各公演の一般発売日10:00より。詳しくは財団HPへ。

友の会PiPiに入会すると、こんなにお得!!

チケット先行申込 / 割引価格 / 最新情報を郵送 / etc

レギュラー会員 ¥2,000 / ゴールド会員 ¥3,000

ご入会・更新は財団HP「友の会PiPi」からどうぞ。24時間受付中!



文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
www.kasugai-bunka.jp Follow us @kasugai_bunka
486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
【休館日】月曜日(祝休日の場合は翌平日)、12/29~1/3



交通のご案内

JR中央線「春日井駅」北口より

- ・名鉄バス(鳥居松)下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

発売中



© Primeworks Studios Sdn Bhd

第67回 かすがい日曜シネマ「タレントタイム～優しい歌」

5/20① 11:15~ ② 13:45~ ③ 16:45~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
【料金】●¥800(当日券¥1,000) ●PiPi会員¥700(当日券同額) ●全自由席、上映時間指定、未就学児入場不可 ※②の回はシーンボイスガイドあり。ご予約の際にお申し出ください。

WEB TEL 窓口

発売中



おばあちゃん、なんぼしとつと!? 西本喜美子写真展「みんなで遊ば、楽しかよ」

5/30⑧~6/10⑩ ※月曜休館
10:00~17:00(※最終入場は16:30)
★⑧⑨は10:00~19:30(※最終入場は19:00)
@文化フォーラム春日井・ギャラリー
【料金】●¥500 ※6/1⑨春日井市制記念日は入場無料 ●PiPi会員は¥200引き ●高校生以下、65歳以上無料

入場時にチケット購入

発売中



若手音楽家支援事業 第2回 ワンコインコンサート Trio Primavera

6/1⑨ 19:00~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
【料金】●¥500(PiPi会員同額) ●全自由席、当日券同額、未就学児入場不可

窓口 ※文化情報プラザのみ

発売中



© Jimmy & Dena Katz

山下洋輔 スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018

6/24⑩ 16:30~
@春日井市民会館
【料金】●¥6,500、U-25(25歳以下) ¥3,000 ●PiPi会員は一般価格から¥300引き ●全席指定、当日券同額、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 **ぴあ(Pコード106-228)**

4月発売



●一般発売 4/21⑨~
葛西聖司の極付! 歌舞伎セミナー

6/29⑩ 13:30~
@春日井市民会館
【料金】●¥500(松竹大歌舞伎のチケット提示で無料) ●全自由席

窓口

4月発売



●PiPi会員Web先行予約 4/7⑨~4/11⑩
●PiPi会員ハガキ先行申込み 4/11⑩必着
●一般Web先行予約 4/18⑧10:00~4/20⑩17:00
●一般発売 4/21⑨~
松竹大歌舞伎

7/16⑨⑩ 11:20:00~ ② 16:30~
@春日井市民会館
【料金】①S席¥7,500、A席¥5,500、B席¥3,500、②S席¥7,000、A席¥5,000、B席¥3,000 ●PiPi会員は¥300引き ②のみ小中高生¥500(WEBから要申込) ●全指定席、未就学児入場不可

WEB TEL 窓口 **ぴあ(Pコード484-556)**

青少年鑑賞サポートプログラム